

合気道不老会 2025 年 定期総会 議事録

1. 開催日時: 2025 年 3 月 9 日 (日) 10:00-
2. 開催場所: オンライン (Zoom)
3. 報告事項
 - 3-1. 周年記念行事の進捗状況について [資料 3-1]
 - 3-2. 不老会通信の発行状況について
 - 3-3. 合気道清緑会の稽古開催状況について
 - 3-4. レンタル・ウェブサーバーの乗り換えに向けた作業の進捗について
4. 審議事項
 - 4-1. 現役学生の状況と 2025 年度の支援方針について [資料 4-1-1, 4-1-2]
 - 4-2. 2023 年度会計監査報告について [資料 4-2]
 - 4-3. 2024 年度決算案について [資料 4-3]
 - 4-4. 2025 年度予算案について [資料 4-4-1, 4-4-2, 4-4-3]
 - 4-5. 役員会・事務局次期体制の承認と、それに伴う規約改正について [資料 4-5-1, 4-5-2]

3. 報告事項

【3-1. 周年記念行事の進捗状況について】

担当幹事の岡山（14代）より、これまで通り、50周年記念行事に向けて2万円ずつ積立てることが報告された。

【3-2. 不老会通信の発行状況について】

担当幹事の伊藤（16代）より、昨年総会以降の通信の発行状況や紙面構成について報告がなされた。また、現在継続中の「お便りリレー」の寄稿者への依頼・連絡の管理について、今後は学年連絡係と協力しながら作業を進めていく方針であることが報告された。

【3-3. 合気道清緑会の稽古開催状況について】

担当幹事の石原（23代）より、2024年中、113回もの稽古会が開催され、多くの同窓生との交流がなされていることが報告された。

【3-4. レンタル・ウェブサーバーの乗り換えに向けた作業の進捗について】

担当幹事の有賀（19代）より、現在、さくらインターネットへの乗り換えに向けて、2025年3月に開催される名古屋大学合気道部の春合宿において対面で現役学生と相談する予定であることが報告された。

なお、ウェブサーバーの乗り換えによって、現在使用している不老会のメールアドレスが変更になる可能性があることも申し添えられた。

4. 審議事項

【4-1. 現役学生の状況と 2025 年度の支援方針について】

担当幹事の山口（33 代）より、議案書の内容に即し、後述する合気道部保管の映像資料のデジタル化にかかる費用を不老会から支出することの是非と費目については別途予算案とともに審議を願いたい旨説明があり、まずは 2024 年度の支援実績と 2025 年度の支援方針について審議がなされ、賛成多数で承認された。

【4-2. 2023 年度会計監査報告について】

事務局の足立（27 代）より、野口（16 代）による 監査報告の代読があり、賛成多数で承認された。

【4-3. 2024 年度決算案について】

担当幹事の小林（33 代）より、議案書の内容に即して説明がなされ、原案通り、賛成多数で承認された。

【4-4. 2025 年度予算案について】

担当幹事の小林（33 代）より、2025 年度予算案について説明があり、以下の論点が提起された。

- ・今年度は、名古屋大学合気道部が保管している演武会、昇級・昇段審査の映像資料のデジタル化を現役生達が進めており、そのうちビデオテープ類に記録されているものの ダビング費用として 40,000 円の追加支援申請があった。

- ・この追加支援申請について

- ① 申請額の全部または一部を承認することは是か否か、また
- ② 承認する場合、ダビング費用を合気道部側の支出とみて現役活動支援費に計上すべきか、不老会側の支出とみて特別支出に計上すべきか、の 2 点を審議事項としたい。

以上を踏まえた 審議の結果、当初、

- ・不老会からの支出を承認したうえで、特別支出として計上する、という案が賛成多数となったが、その後、
- ・特別支出とした場合、デジタル化された映像資料は名古屋大学合気道部ではなく合気道不老会の所有物ということになるが、保管や管理の面で支障が生じるのではないか、との疑義が提起され、議長に再採決を求める動議がなされた。そこで、再採決となり、不老会からの支出を承認したうえで現役活動支援費として計上するという案が賛成多数で承認された。ただし、少数ながら、

- ・不老会による現役学生に対する金銭的な支援は、できるだけ抑制的であるべきである。
- ・また、所有権の所在などについてはあまり厳密に考えず緩やかに考えることが望ましい。
- ・不老会の事業として取り組み、学生に管理を委託するという形態をとったほうがよいので

はないか。

- ・今後不老会の事業を長く継続していくなかで、その都度その都度、適切なやり方を考えていくべきである。
- ・現役学生にとって管理を続けることが負担になるようであれば、改めて、その支援について要望を出してもらい、議論をするのが望ましい。

といった意見も提起されたことを議事録に記載することとした。以上の議論を踏まえ、**2025 年度予算案のうち、予算案 2 が賛成多数で承認**された。

【4-5. 役員会・事務局次期体制の承認と、それに伴う規約改正について】

事務局の足立（27 代）より、現在の役員会・事務局の任期が 2025 年 3 月までであり、**次期の役員会・事務局の候補者を選定し、内諾を得ている旨、報告**がなされた。また、次期の課題は、既に軌道に乗った不老会の会務を代替わりがしても円滑に執行していける体制を構築すること、次の周年記念行事の企画・準備・開催に向けて若い世代にも担い手としての経験を積んでいただくことであることが説明された。以上の報告を踏まえ、**賛成多数で承認**された。